

平成26年度事業報告書

法人の名称

特定非営利活動法人楽しいスポーツを支援する会

1、 事業の成果

2015年4月より新しい事業として、川崎市堤根余熱利用市民施設における水泳指導の一部を行う事となりました。昨年4月から同様の施設王禅寺余熱利用施設の水泳指導を一部行ってきましたが、内容的には同じになります。その他は毎年継続して行っている、上井草スポーツセンターにおける障がい児のアクアムーブメント、静岡県富士市の重度障がい者アクアムーブメント、マザーズホームの子供たちのアクアムーブメントも開催できました。指導員養成講習会は今年度の開催できませんでした。横浜の障がい児訓練グループ「れいんぼー」のアクアムーブメントも月1回のペースで継続して行っています。トライアスロンエリートアスリート水泳指導も継続して行っており成果を上げています。今年度も大きな事業である川崎市多摩スポーツセンターの水泳指導事業が5年目の今年度も滞りなく行えたことがNPO全体を大きく支えています。平成16年9月設立の当NPOも11年を迎え、現在の事業を継続しその内容を充実させることが最も大切と考えています。

2、 事業の内容

上井草スポーツセンターアクアムーブメント①

日時： 平成26年10月26日(日)

午後12時00分～14時30分（ミーティング時間含）

場所： 杉並区上井草スポーツセンター

〒167-0023 東京都杉並区上井草3-34-1

☎03-3390-5707

参加者： 8名 ダウン症、自閉症等の障がいのある小学生

内容： アクアムーブメント(荒井講師のリード)

12:45 準備体操

13:05 アクアムーブメント

集団でつなぎ遊び、円陣遊び

13:40 ヌードル・フープ・キックボード

泳ぎにつなげるムーブメント

13:55 終了

集団遊びで楽しく終了

目的： 杉並区上井草スポーツセンターに障害児のアクアムーブメントの定着

指導員： 講師 1名

指導員 8名

ボランティア 3名

収支： 収入 98,000円

支出 講師料 7,000円

指導料 16,000円

交通費 指導員 13,200円

ボランティア 3,600円

事務局 3,381円

合計 43,181円

収支： 54,819円

成果： 今回は運動会等の地区の行事と重なり参加者が少なかったのが残念ですが、参加した人たちにとっては楽しいアクアムーブメントになったと思います。準備体操前からしきりにプールに入りたがっていたお子さんもいましたが、集団の中でもマンツーマンの対処が出来たのでプログラムの流れは順当にいきました。

上井草スポーツセンターアクアムーブメント②

日時： 平成26年11月30日(日)

午後12時00分～14時30分 (ミーティング時間含)

場所： 杉並区上井草スポーツセンター

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-34-1

☎03-3390-5707

参加者： 14名 ダウン症、自閉症等の障がいのある4歳児から成人

1名は脳障害による片麻痺(泳げる)

内容： アクアムーブメント(荒井講師のリード)

12:45 準備体操

13:05 アクアムーブメント

集団でつなぎ遊び、円陣遊び

13:40 ヌードル・フープ・ボール

浅いフロア一部分は立位での運動

深い部分は泳ぎ

13:55 終了

集団遊びで楽しく終了

目的： 杉並区上井草スポーツセンターに障害児のアクアムーブメントの定着

指導員： 講師 1名

指導員 5名

ボランティア 1名

収支： 収入 98,000 円

支出 講師料 7,000 円

指導料 12,000 円

交通費 講師 5,144 円

指導員 7,200 円

ボランティア 1,200 円

事務局 5,005 円

合計 37,549 円

収支 60,451 円

評価： 中高校生で募集開始から一ヶ月経っても一名のみの応募だったので、年齢枠を撤廃したところ間際に集まり 14名の参加となりました。年齢、障がい別ともいろいろであり、当日、顔を合わせてから柔軟に対応する事となった。荒井講師の指示のもとベテランの指導員も十分に働き無事に楽しく終了することができました。来年度は肢体の障がいを持った方のアクアムーブメントを企画したいと思っています。

社会福祉法人インクルふじ 生活介護事業所「でら〜と」「らぼ〜と」利用者 アクアムーブメント



社会福祉法人インクルふじ運営方針

- 社会の一員として、より多くの人との関わりを大切にする
 - 健康・生活・社会面に関するあらゆるハンディーを、より軽減できるように努力する
 - 自己決定、自己選択を重んじ、支援にあたる
 - その能力に応じたQOLを高めるために努力する
- これらの考えをより多くの人に伝え、実践していくことにより、社会福祉の啓蒙をする

NPO法人楽しいスポーツを支援する会活動方針

- 健康と感動と幸福感
- 笑顔を導き出す

参加者： 合計 92名
「でらーと」通所者 18名
「らぼーと」通所者 12名
「でらーと」「サポート」職員 30名
RSC 富士スタッフ 7名



「NPO 法人楽しいスポーツを支援する会」講師、指導員 9名
静岡県障害者水泳協会理事 1名
見学 15名

日時： 平成 27 年 6 月 30 日(火) 午後 13:00~14:00

会場： R スイミングクラブ富士
〒417-0061 富士市伝法 2560-1
Tel 0545-52-0488

集合： 生活介護事業所でら〜と
〒417-0061 富士市伝法 86-3
Tel 0545-23-1551
溝ノ口 午前 8:30



JR 溝ノ口横 ニッポンレンタカー溝ノ口店
川崎市高津区溝口 1-1-30 044-866-2231

「でら〜と」着 午前 10:30

挨拶と施設利用者活動見学・ミーティング 午前 10:45~11:40

担当看護師より

① でらーと・らぼーと利用者の特徴

種別では重症心身障がい児(者)

寝たきりの者が多い。数名座位や立位が可能。言語によるコミュニケーションがほとんどできない。

脳性麻痺が多く、てんかんを合併症でもっている

今回は気管切開の利用者は体調がわる参加しない

② でらーと・らぼーと利用者へのアクアムーブメントの意義

寝たきりの方が多く、常に重力に押しつぶされた生活なので、胸郭の扁平や脊柱側弯などの変形が顕著

水による浮力は重力から解放してくれるとともに、様々な姿勢を少ない負荷で可能にする

③ 注意事項

- 利用者の状況は個々に違うので、必ずスタッフと打ち合わせをして、出来ること出来るな

いことなどの確認

- 運動障害のため、骨が細くもろいことに加えて長年抗けいれん剤を服用しているため骨折の危険性があるため、一肢を引っ張るなどは要注意。水に浮いている場合は負荷が減る
- 水遊びなどの時にてんかん発作の可能性が高くなる。表情や体の痙攣などの観察。おかしい時にはスタッフに連絡。発作で亡くなることはないが、水を誤嚥したり、浮き具の下に顔が入ってしまうなどが心配。
- 末梢の循環不全があるために、四肢や唇の色を観察
- 医療的なケアのある方(胃ろう・経管・カニューレ)は看護師から個別に説明を受けてください

NPO 講師より

- 笑顔を引き出す事。その為には指導員が笑顔でいること
- 看護師さんの説明どおり、スタッフとの連携を大切にしてスタッフの指示には従うように
- プール内の大きな流れはプール全面を使い右回りで動き、時に前後左右のうごきや、左回りを入れる
- 個々の人達の動きを早い段階でつかみ取ってください

利用者昼食開始 午前 11:10

利用者食事時間中に、プールに入る方との顔合わせを行い、スタッフの方から個人の特徴と注意事項を聞き指導員からの質問を受ける時間とした

コーチミーティングと昼食 午後 11:45～

- 移動から更衣、そしてプールサイドまでの流れ、そして、プールに入ってから流れの把握をするよ
- 施設スタッフの手伝いをする
- 参加者の体調を把握する
- 大まかに1時間のプール内の動きを確認
- 笑顔でいこう

内容：

プールへ出発 午後 12:15

会場の R スイミングクラブ富士には、道を間違えたため 15 分で到着。駐車場から体育館には車椅子を 3 人がかりで持ち上げて移動し、体育館に仕切りをつけて更衣室とした所で着替え。指導員は更衣後プールサイド準備にかかる。

すでに、参加者の更衣は施設スタッフの方が手際よくやっています。施設内で水着を着てきている方もいます。体育館からプールへは段差があるので抱えたりおぶったりして移動です。プールサイドには 12:50 頃より集まり始め、13:00 分頃にはほぼ全員集まったので簡単な挨拶をして、担当指導員を再度確認し、組になってプールに入っていた。





アクアムーブメント 午後 13:00～13:55

「アクアムーブメント」実際の流れとしては、13:00 にプールサイドにて荒井講師の挨拶から始まり、指導員が先にプールに入り、施設スタッフと協力して利用者を水の中に入れていきました。左回りで大きく全員が入るまで移動し、全員が入水して中央に集まり、歌を歌いながら手を動かしました。再度右回りで動きながら、ローリングやタッピングを行い一層のリラクゼーションをはかる。再度プール中央に集合し歌を歌いながら大きくゆるする運動を行い、それぞれの自由な動きに移る。プールサイドにいる見学者に協力していただきアクアヌードルでトンネルをつくり、トンネルくぐり、すでに 30 分以上経過しているので、身体が冷えている人はお風呂やシャワーで身体を温め、そのまま更衣としました。徐々にプールから上がり、最後の人は 14:00 に退水となりました。

参加者の中には、自ら潜りリズムよく呼吸を繰り返す人もいて、水に対する適応の個人差が大きくありましたが、全体にリラックスして楽しんでいました。



更衣と帰宅 午後 14:15～14:55

更衣中に疲れて眠っている人がいました。濡れたまま帰ると風邪をひきます。終了後の更衣もしっかりと様子を見ながら行います。更衣終了者は車椅子、移動ベッド等で待機します。施設の車の準備も出来ました。体育館から駐車場へは 3 人で下します。終了後、施設に戻って家の方のお迎えを待つ人、その場から自宅へ帰る人に分かれます。指導員が会場を出たのは 14:50 分頃です。

反省会 午後 15:00～15:30

「アクアムーブメント」を終了して、「でらーと」に再度集合しミーティングを行った。

- ① 来年も同時期に行う
- ② 来年は富士市の県営プールが使えるのでそこで行う
- ③ 6 月最終週に行う
- ④ 施設利用者が聞いている歌や、施設イベントで使っている歌をみんなで覚えて使う

- ⑤ 2グループに分かれる意見や、2日間で行う意見も出たが、1日1回で行う
 - ⑥ 事前打ち合わせを密にして、当日プログラムを充実させる
 - ⑦ ネットヘルパー等必要な用具をしっかりと準備しておく
 - ⑧ 参加者の増加が見込まれるので、指導員人数の増加を考える
- 等の事を念頭に次年度はより充実したイベントとしていく

帰宅 現地出発 午後 15:45
 新東名沼津サービスエリアにて休憩
 溝ノ口解散 午後 17:45



収支：	収入		
	支出	謝金 9名分	23,000 円
		施設使用料 プール・体育館	29,000 円
		文具	756 円
		交通費 レンタカー(ガソリン代含む)	23,313 円
		有料道路	6,480 円
		指導員交通費(集合場所まで)	6,856 円
	会議費		9,076 円
		合計	98,481 円

収支： -98,481 円

※この負担分は、多摩スポーツセンター売上の一部及び寄付金よりまかなわれました。

※指導員の昼食は「社会福祉法人インクルふじ」で負担していただきました。ご馳走様。

👉地元のメディアも取り上げていました



トライアスリートのエリートクラス水泳指導

期日： 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月
 時間： 午前 6 時 00 分～7 時 30 分
 対象： 日本選手権出場クラスのエリート選手及びマスターズスイマー
 場所： 太陽教育スポーツセンター内 25m プール
 〒152-0021 東京都目黒区東が丘 2-14-6

- 内容： クロールを中心とした水泳練習
ウォーミングアップ・クーリングダウンを含め90分の練習時間の多くはATレベルを中心とする持久系トレーニングです。長時間スポーツであるトライアスロンの特徴を考え、効率の良い泳ぎと、心肺機能向上、筋持久力向上を目指します。
- 成果： このクラスの選手の中から日本選手権出場者は毎年排出するが、最近、上位進出者は出ていません。スイミングのみの種目でないのですが、スタート種目なのでスイミングは重要な位置にあります。今後はさらに技術・運動強度の適切化を図り、よりよい選手育成に力を注ぎます。
- 収支：
- | | | |
|----|-----|-----------|
| 収入 | | 635,040 円 |
| 支出 | 指導料 | 0 円 |
| | 交通費 | 54,862 円 |
| | 交際費 | 45,742 円 |
| | 合計 | 100,604 円 |
| 収支 | | 534,436 円 |

マザーズホームの良いい子とアクアムーブメント

日時： 平成 27 年 7 月 6 日(月) 午前 9 時 40 分から 11 時 00 分
マザーズ”ホーム・・・

富士吉田市立保育園(小学校入学前の障害児通園施設)

富士吉田市松山 4-11-27 Tel0555-24-0570

会場：ブルーアース富士河口湖(町営) 25m プール

富士河口湖町船津 5540 Tel 0555-24-0570

参加者：15 組 (通園者 10 組 卒園者及び養護学校生徒 5 組)

時間：

集合	溝の口・あざみ野	7 時 30 分
会場到着		9 時 30 分
顔合せ・説明・準備体操		9 時 40 分
プール入場		9 時 50 分
アクアムーブメント開始		9 時 55 分
終了		10 時 45 分
保育園へ移動		11 時 10 分

子供たちは昼食



反省会

12時00分～13時30分

準備体操場にて挨拶と注意事項説明：

初めて園の主催となった今回は園長先生からの挨拶で始まりました。

撮影の許可と掲示の許可を保護者と園からいただきました。

荒井講師より、水の中の諸注意とアクアムーブメントの基本技法の説明。

内容： シャワーを順番に浴びてプールサイド集合

プールサイドで腰かけながら水慣れ。右回りで移動しながらしっかり抱えて水に入りました。2周回ったところで中央に集合して始まりの挨拶。みんなで元気よく「こんにちは」。そのあとに、迷子の仔猫ちゃん他 3 曲を歌いながら手の運動。元気が出たところで又右回り。お母さんは胸の前に子供を抱いて後ろ向き移動。こうすると、子供たちに水がかかりにくく、不安な子供も安心してプールの中にいられます。プールフロアにはフープが取り付けられています。深いところはお母さんが抱っこ。浅いところは自分で歩いて、歩けない子供は抱っこして移動。フープの場所で潜って通過したり、避けて通ったり、浮かせてもらいくぐったり。次はみんな繋がってつなぎ遊びで電車ごっこ。このあたりで今回は大きな風船が入りました。あたってもいたくない風船に子供たちは大喜び。次はアームヘルパーとヌードルを使って「お馬さんパカパカ」でバランス運動。アームヘルパーを使って一人で浮いてお母さんと離れる子供もいました。最後にみんなで集まって歌を歌いながら終了です。



評価：8年目を迎え、初めて園主催となった今回のアクアムーブメントは、園児 10 名、卒園者 6 名の合計 16 名参加。当初の予定ではもう 10 人ほど参加予定でしたが、本人の体調や、親の都合で参加者が減りました。当日はあいにくの雨でしたが、参加者は元気いっぱいでした。指導員が現地に着いた時には、子供たちが着替え終わって準備体操室で待っていました。

プールに入ると、今回プールが初めてのお子さんがお母さんにしがみついていた。緊張したその顔が印象的です。何ととっても頼りはお母さん。お母さんがんばれ！みんなの勢いにつられ荒井講師も元気 100 倍！歌もいつもより大きな声で歌っていました。潜れるお子さんは何度も潜っていました。経管のお子さんも今年は経管が取れて心配なくプールで歩いていました。30 分経過頃、やや寒そうな子供たちが増えてきたが、お母さんも慣れてきて、タイミングよくお風呂に移動。楽しさを引き出すには細心の注意も必要です。

また来年も会いましょう。

皆で楽しいアクアムーブメント！

収支：	収入	45,000 円(富士吉田市教育委員会)
	支出	謝金 19,000 円
		交通費 有料道路 11,080 円
		ガソリン代 6,747 円
		指導員集合場所まで 3,824 円
	収支	4,349 円



横浜地域訓練会「れいんぼー」の仲間とアクアムーブメント

会場： 横浜ラポール

期日： 2014年10月18日 11月15日 12月13日 2015年4月16日 5月14日 6月18日 7月16日 8月13日 9月20日の9回行われました。

参加： 平均6名 最大で9名最も少ない時は3名

ダウン症、自閉症、広汎性発達障がい、四肢体幹機能障害、知的障害等の障がい児

内容：

11:00 プールサイド集合

プールサイドでの挨拶から始まり、プールサイドでの準備体操を行います。

プールに入るときはゆっくりと手すりにつかまって、右回りに動きながら保護者と子供たちが水に慣れていきます。

コース内を2周回ったところで中央に集まり挨拶です。

子供たちの様子を確認し、今日の大まかな流れを説明した、また動きます。ゆっくりとした揺らし、慣れた子供たちには少し大きな揺らし、早い揺らしと変化をさせます。指導員の歌で手を動かし、脚の動きにも入っていきます。自立歩行がしっかりできるためにはバランス機能、抗重力筋の向上は欠かせません。腹筋・殿筋・大腿筋等への刺激を与える動きを行いました。呼吸機能も重要です。バブリングは保護者がやって見せて真似させました。

11:30 アクアヌードルやアームヘルパーの利用

まずはアクアヌードルで電車ごっこ、お馬さんパカパカ、トンネルをつくって、潜りながらのトンネルくぐり。次にアームヘルパーを使い、好きに動いていただきます。水深の浅いところでは、足をつかせ歩きの練習。深いところでは背浮きでリラックスと安全確保能力を習得させていきます。場所慣れ、人慣れ、やはりいろいろと体験させることが重要です。

11:45 最後は各子供に合わせて、その能力を導き出すように個別的にアドバイスをします。プールから上がる合図で順番に上がります。まだ入って居たい子供や、直ぐにも出て

帰りたい子供など様々です。

評価：平成 26 年度のれいんぼーは、プールの関係で、1 月から 3 月は活動できませんでした。訓練会の子供の人数の割に今年度の参加人数が少なかったようです。参加率の高いお子さんはそれなりの効果が認められます。中には泳ぎの練習に入れるお子さんも現れました。

収支：収入	9 回分	116,640 円
支出	指導料	14,000 円
	交通費	23,065 円
収支		79,575 円

成人水泳報告書

会場： 国立代々木競技場室内プール 50m1 コース

期日： 火曜日 11:30~13:00

1 期	平成 26 年	①10 月 7 日	②10 月 21 日	③11 月 4 日	④11 月 18 日
	平成 27 年	⑤1 月 20 日	⑥2 月 3 日	⑦2 月 17 日	⑧3 月 3 日
2 期	平成 27 年	①4 月 21 日	②5 月 19 日	③6 月 2 日	④6 月 16 日
		⑤7 月 7 日	⑥9 月 15 日	⑦9 月 22 日	⑧9 月 29 日

※ 6 回は通常時間より延長して行いました

指導員 臼井正視

教室の趣旨

- 1) 成人の水泳愛好者が、自分の身体を水の中で自由にコントロールできるようにする
- 2) 流体力学の理論に合った身体の動きをする
- 3) 自分のコンディションの整え方を身に着ける
- 4) 泳ぐ以外の周辺技術(スタート・ターン等)を身に着ける
- 5) 自分で練習するときのヒントをつかむ

内容：

主な水泳教室練習内容

UP 100×2-2'30" FR

肩関節の動きづくり

股関節の動きづくり

S 50*3-90" FR

S 25*4-60" BR

Drill 20*4-60" FLY

K・S 25*4-60 FLY

S 25*4-60” BA

身体の使い方 特に重心移動 浮心は肺→肘の位置に意識する

肘を移動させるには肩甲骨周りの筋肉

掌の作り方 手首の角度

BR K 腰・膝・足首

水を捉えた感じ

P 肩・肘・手首・掌

肘を上げるという事

推進力とりかばり

S タイミング

FR Drill 一つの Drill の意味が変わる

各自 **S 25*12-60** 12本の中で意識する箇所を変える

無意識のことが出来ているか

収支：	収入	369,400 円
	支出	講習会費(プール使用料) 348,500 円
		講師料 104,500 円
		交通費 1,200 円
収支		- 84,800 円

※指導料不足分は寄付金から賄いました。

中野島・東生田小学校支援級アクアムーブメント

日時： 平成 27 年 6 月 15 日、22 日、7 月 3 日、13 日、22 日、29 日

午前 9 時 00 分より 10 時 30 分

場所： 中野島小学校・東生田小学校

講師： 荒井正人、杉山輝明

ボランティア： 1 名

参加者： 支援級 12 名

参加費： 0

テーマ： 学校授業にアクアムーブメント

収入： 22,680 円

支出： 謝金 22,680 円

収支： 0 円

成果： 昨年同様、両校より依頼があり、支援級の子供たちに水中運動を行いました。「子どもたちのやる気は楽しさから引き出されます。」をテーマに、ボランティアや教員たちのお手伝いを受けながら、アクアムーブメントを行いました。子供たちは更

衣やプールでのルールも理解し、円滑に行動できるようになりました。水の中では本当に楽しそうに動きます。

プライベートレッスン

平成 26 年 10 月→1 回 11 月→2 回 12 月→4 回
平成 27 年 1 月→2 回 3 月→2 回 4 月→1 回
合計 12 回

成果： 10 月～12 月まで小学生 1 名のプライベートレッスンが継続して行われています。
その他は成人のレッスンが冬から春に行われました。集団指導にはない細かな指導が出来、それぞれの目標に沿った内容で行われました。それゆえ参加者からの評判は良いようです。しかしながら、夏場は指導員が他の現場に行くためにレッスンを行う人がいないのが現状です。

収支：	収入	77,116 円
	支出 謝金	17,500 円
	交通費	5,376 円
	合計	22,876 円
	収支	54,240 円

長水路練習会

マスターズスイマー、競泳選手、トライアスリート、オープンウォータースイマー対象
クロール・飛び込みが上手になろう！

期日： H27 年 4 月 28 日、5 月 12 日、26 日、6 月 12 日、9 月 29 日

会場： 東京都体育館プール

参加者： マスターズスイマー、高校生スイマー、オープンウォータースイマー等

練習： 1 回 2 時間、5 月 26 日は午後 3:00～と 7:00～の 2 回 全 6 回

内容

S 100×4-2' FR

K 100×4-2'30" FR

Drill 100×4-2'15" FR

飛び込み練習

2.2m の水深を利用して、普段できない飛び込み練習を多く行った

S 100×2×6-1'30"セットレスト 30"

水中姿勢練習 け伸びから浮き上がり

SD 25×8 飛び込んで 25m を全力で泳ぐ

評価： 1回の練習参加者約12名位
1コース2時間の練習で中身の濃い練習が出来たと思います。
参加者の年齢、競技種目も異なるが練習中は和気あいあいに出来、新しい試みが成功したといえます。

収入： 参加費 59,000円
支出： プール使用料 37,150円
講師料 (臼井指導で無料) 0円
交通費 1,000円
収支： 20,850円

川崎市王禅寺・堤根余熱利用施設水泳・水中運動教室

期日： 平成27年4月～27年9月
場所： ヨネッティー王禅寺 ヨネッティー堤根
時間： 王禅寺→月曜日火曜日金曜日 15:00～17:30
堤根→金曜日 14:30～18:30
対象： 幼児、小学生
内容： 水泳・水中運動指導
指導員： 専属職員1名、アルバイト指導員2名
目的： 川崎市王禅寺余熱利用施設内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市の地域の健康とスポーツの推進に寄与する。

収支： 収入 615,783円
支出 謝金 244,800円
交通費 24,340円
交際費 28,286円
収支 318,357円

成果： 今年度から王禅寺に堤根での指導が増えました。王禅寺は4月から9月までの半期の中での水泳教室ですが、堤根は通年となります。少ない指導枠ですがアクアムーブメントの普及に努めたいと思います。実際の水泳指導では、子供たちの状況把握を速く行い円滑に進むように心がけた。参加した子供たちの反応も良く、出席も良かった。堤根は4月より専属職員が金曜日に指導にあたっていました。キャリアのある指導員なので、十分その能力を発揮し、地域の方々に支持される水泳指導を行うことが出来ました。今後も両施設ともに指導を継続していく方向です。

川崎市多摩スポーツセンター水泳・水中運動教室

期日： 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月
場所： 川崎市多摩スポーツセンター
時間： 別表教室時間表参照
対象： 幼児から高齢者、障がい者
内容： 水泳・水中運動指導
指導員： 専属職員 4 名、アルバイト指導員 12 名、その他ボランティア
目的： 川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市多摩区地域の健康とスポーツの推進に寄与する。

収支：	収入	14,738,934 円
	支出	
	職員給与	6,593,500 円
	アルバイト給与	2,937,350 円
	交通費	1,348,762 円
	研修費	7,730 円
	講習会費	247,518 円
	支払手数料	40,824 円
	租税公課	20,000 円
	法定福利費	1,047,002 円
	福利厚生	666,025 円
	交際費	61,177 円
	通信費	9,818 円
	合計	12,979,706 円
	収支	1,759,228 円

成果： 全体の教室別出席者数及び出席率は別資料参照

○川崎市多摩スポーツセンター知的障がい者アクアムーブメント

対象 中学生以上で小集団活動が可能な人
会場 川崎市多摩スポーツセンター
日時 毎月第 3 日曜日(H26 年 10 月、H27 年 3 月、8 月はお休み) 10:00
～10:50
参加者 別紙
講師・指導員 2 名

中学生以上を対象とした知的障害者の水中運動です。今年度は参加者が平均 7.8 名と増えてきました。運動不足解消と社会への参加を目的として、リラックスした楽しい空間をつくっていくように考え、進行しています。今後も同様に定期的に行ってい

き、地域の人たちに参加を促し、障害を持った方々と地域の方の交流の場にしていき
たいと考えています。

○川崎市多摩スポーツセンター知的障がい児アクアムーブメント

場所 川崎市多摩スポーツセンター
時間 水曜 午後 5 時 30 分から 6 時 30 分
対象 知的障害児
参加者 別紙
講師・指導員 8 名

平成 26 年度は平均して定員の 20 名を超え 23 名以上で毎期開催している。定員オ
ーバーの状態です。子供たちの多くは継続して受講しているの、指導員にも慣れて
きて、かなり泳げるものも出てきました。更衣やプールサイドでも順番待ちがしっか
りできるようになり、公共施設の利用の仕方を理解してきたようです。しかし、1 年
の内数回は更衣室内のトラブルもあるようですが、指導員が常時更衣室にも入り、子
供たちの様子を見ています。自分で更衣することが大切なので、殆ど手を出さず見守
るようにしています。プールでの練習では従来通り、指導グループも 4 つに分け、立
位姿勢中心のグループから、25m を泳ぐ練習をするグループに分かれています。泳げ
る子供たちは 25m の往復練習も行うようになりました。

○川崎市多摩スポーツセンター肢体障がい者アクアムーブメント

場所 川崎市多摩スポーツセンター
時間 水曜 午後 1 時 10 分から 2 時 10 分
対象 肢体障がい者
参加者 平均 3 名
講師・指導員 3 名

肢体に障がいを持った方のクラスですが、このクラスの参加者も平均 3 名と少な
いのが現状です。マンツーマン指導となっています。多摩スポーツセンターのプール
は入水する際にスロープから入れるので、車いす移動が可能です。施設状況も良いの
で多くの方々にご利用していただくと幸いです。アクアムーブメント携わる指導
員は障がいを持った方々のその特徴に合わせて適切な運動処方を行います。基本は
「無理なく楽しく」です。水の特性を利用し身体機能の改善に必要な動きのサポート
をしていきます。運動はご本人の意思が、最も重要です。動かしたい気持ちが湧き上
がってくるようお手伝いします。参加していただいている方々は継続して行っ
ています。今後も続けて行っていく予定のクラスです。

○川崎市多摩スポーツセンター コンディショニング・アクアビクスイベント

今年度もアクアビクスが平均 3 名、コンディショニングが平均 5.2 名と参加人数
が少ないのが現状です。スポーツデイで行われる無料の定期時間が満員なので、そ
ちらに取られるようです。指導スタッフは日本でも有名な実力のあるベテランスタッ

フなのでもったいない気がします。是非地域の方々に良さを実感していただきたいと思いますが、大きな赤字箇所なので、来期はイベント回数を減少させていきたいと思っています。皆さんのお越しをお待ちしています。

参加人数、出席率等は別表にて

○川崎市多摩スポーツセンター キッズ・ジュニアクラス

今年度も多くのクラスで、ほぼ定員状態が続いています。平成27年4月より木曜日の午後6時30分より7時30分の時間帯にJR③クラスを増設しました。このクラスは小学校高学年中学生対象のクラスです。第5期までの成果として泳げるようになった子供たちに、より一層体力をつけ、水泳の楽しさを味わってもらえるクラスです。現在の参加者は一ケタですが、今後他の曜日にも増えていくことが出来ればよいと考えています。今後も指導員一人一人が、自らの技術を磨き指導方法の上達と開発に努め、自己研さんしなければなりません。

※参加人数、出席率等は別表にて

○川崎市多摩スポーツセンター シニア・成人・アクアビクス等

今年度の参加人数は安定してきました。何度か泳法指導、シニアアクアムーブメント、アクアムーブメントスイム等名称や内容を変更し、地域にあった成人の水中運動を模索してきましたが、ここでやっと、ニーズに合ったプログラムが揃ったようです。今後は、参加者が1回参加するごとに満足していただけるように指導内容の充実を図ることはもとより、指導者の内面を高めることにより、参加者が安心して楽しく水中運動が出来る状況を確立していきたいと思っています。

※参加人数、出席率等は別表にて

その他の事業は行いませんでした